

“団塊の世代、文化活動へGO!”

～公民館デビューで地域の活性化へ～

こすど地区公民館報

発行
新潟市小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市小須戸117番地
TEL 0250-38-2234
FAX 0250-38-5210
編集・公民館報編集委員会



地元民謡グループが老人福祉施設を慰問
(写真は本文とは関係ありません)

今回の公民館報では、地元の団塊の世代といわれている皆さんの中で、これから生涯学習のグループに参加を希望されている二名の方にインタビューしました。
この特集が、気楽に公民館活動に足を踏み込んでもらうための一つの足がかりになれば幸いです。

元気をもらいたい

この六月で仕事を定年退職され、これから公民館活動に新しく仲間入りをされるといふ六十代の女性

「役場(支所)はもろろん、公民館って堅苦しい感じがするんですけどね」
その方は、今まで抱いていた公民館の印象について何のわだかまりも無く口をひらいてくれました。

Q それはなぜですか
A 私のような教養の無い人が来ていいのかな。
役場と公民館は関連したみたいな所だから、ちょっと聞きたいなと思うようなことでも足を踏み入れにくいんです。公民館の方はそれより楽なんですか。

Q これから公民館の自主サークルに入会されるそうですが、入会するのにすんなり決められますか。
A 昨日、公民館のロビーで区バスを待っていたら、たまたま公民館活動に参加されている人に出会いました。その方と話をしたら定年になってから、クラブに入ったことを、私にいろいろ教えてくれました。それで私も出ると思ってきました。昨日決めたんです。それと、定年になると会社の仲間が遠のきますよね。それでまた、新しい友達を欲しいと思って、公民館の中のクラブに何か一つ入りたいと思いました。

勤めていたときは家に居るのがどんなに楽なことかと思っていました。けれど、やっぱり、何にもしなないとかえって具合が悪いんですよね。もう一つは公民館報に一般の方が「皆さんも来て下さい」

「大正ごとは楽しいよ」
わたしは、二年生の四月から、大正ごとははじめました。やっていると、おもしろくなってきました。八月に、はつぴようがあります。よこ川はまで、やります。よこ川はまのおまつりで、はつぴようします。ステージでやります。むねにリボンをつけてひきます。二きよくひきます。きよく目は、「たなばたさま」と「夕やけこやけ」です。がんばってひきます。



「大正ごとは楽しいよ」
小須戸小学校二年生
渡辺 仁実さん
(童玄新田)

す。八月のはつぴようかいは、ドキドキします。子ども大正ごとは、月に二かいれんしゅうします。だい二土曜日とだい四土曜日のご一時半から、公みんかんでやります。大正ごとの先生方がおしえてくれます。二年生は、わたしと、ふくしまみさんの二人です。みんながんばっています。

「自由見学デー(自主サークルの一般公開)」に参加されたようですがいかがでしたか。
A もともと民謡を唄うのが好きで、今まで自己流でやってきたけど、今回六月号の公民館報を見ていい機会だと思っただけで、どの程度のことかをやっているのか顔を出させてもらいました。それと二年前から地元の芸能祭を観せてもらい皆さん、一生懸命楽しんでいられたらというの、分かりました。

退職後の慰問を夢見て!!

来年、定年退職を迎える予定の六十代の男性
自分の好きな民謡を通して、お年寄りなどに喜んでもらいたいという目的を持っていられる

Q 民謡をされる目的はなんですか。
A 病院関係の仕事をしていて、職場(特養)にいろいろなグループが来てくれます。私も将来的には慰問に来てくれるグループの一員になれるかと考えています。自分の好きなことで、お年寄りなどに喜んでもらえればそれにこしたことはないです。ですから、そのためには、今までは勢いに任せて唄ってききましたが、サークル活動に入ってみる程度に力を合わせて唄える程度に

「金魚買って...!!」と喜んで、ようやく買った金魚、まだ元気な吉田英明さんを取材しました。吉田さんは何代も続いた店の若主人で二十六歳で、サラリーマンから転職し、お父さんの後を継がれたとのことです。

育てているのは七割が金魚でその他、錦鯉、メダカ等。仕事で大変なことは、「四月から九月頃までお祭りなどの出店が主で帰宅がいつも深夜になる」とことや「どんなに忙しくても、生きものなので常に病気に注意すること」など。子どもを育てるよう愛情込めて、立派な金魚を出荷したいとのこと。

「金魚買って...!!」と喜んで、ようやく買った金魚、まだ元気な吉田英明さんを取材しました。吉田さんは何代も続いた店の若主人で二十六歳で、サラリーマンから転職し、お父さんの後を継がれたとのことです。



とても、気さくな吉田さん

きらめき、小須戸 夏の風物詩 地元唯一の金魚屋さん

「金魚買って...!!」と喜んで、ようやく買った金魚、まだ元気な吉田英明さんを取材しました。吉田さんは何代も続いた店の若主人で二十六歳で、サラリーマンから転職し、お父さんの後を継がれたとのことです。

そうですが、そんな中で一番嬉しいことは、お客さんから「前に買った金魚、まだ元気なわね。」と言われたとき、にこやかに話されました。最後に、夢はなんですかと聞いたら「小須戸地区を『花と緑と金魚に、なんてそんな金魚屋になりたいわね』と、屈託なく笑っておられました。

速報

香山リカさん(精神科医)12月に小須戸で講演!!
今年の小須戸地区文化講演会は、テレビ等の解説をはじめ、精神科医や大学教員として幅広く活躍中の香山リカさんをお迎えする予定です。
※詳細については、次号の公民館報でご紹介いたします。

催し物ご案内

◎第33回新津美術展作品募集 ■会期/10月21日(土)～29日(日)午前10時～午後5時まで(ただし、最終日は午後3時まで) ■会場/新津美術館
■応募資格/新津地区及び小須戸地区に在住または通勤、通学する人※中学生以下は応募できません。 ■応募部門/日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真 ※各部門とも応募は1人2点以内、未発表作品 ■出品料/1点1,000円 2点1,500円(高校生は1点500円 2点750円) ■受付期間/9月1日(金)～10月6日(金) ※郵送の場合は必着 ※申込用紙に必要事項記入のうえ、生涯学習課 生涯学習係へ(新津東町2-5-6 新津地域学園内 電話22-9666) ※作品募集要項及び申し込み用紙は、小須戸地区公民館にあります。

シリーズ スポーツ大好き!! (4)

スポーツで発散、仕事に活力

私達は、地元企業で働いている社員数名でのバレーボールチームです。毎週金曜日午後七時から九時まで小須戸中学校体育館で汗を流しています。チームといってもバレーボール経験者は少なく試合に参加するほどのレベルではありません。むしろ体力保持が目的で始めたのがきっかけです。年齢も二十歳の若い子から四十歳を越えたおじさんまでいます。社員に限らず友達を誘って来る人もいるくらい本当に気軽に楽しくやっています。またスポーツを通して



明るく、とつきやすそうなメンバーでした

より多くの人脈をつくることも大切だと考えていますので、バレーが好きの方がいましたら気軽に遊びに来て欲しいと思っています。一緒に楽しみましょう。

代表 田崎宏一

※このコーナーでは小須戸地区を拠点にしてスポーツを楽しむ方やグループの「スポーツ大好きさん」を紹介いたします。

第61回県展入選作品の紹介(3)

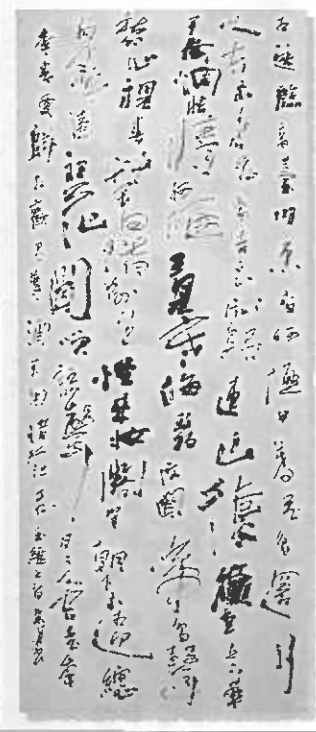
〔書道部門〕



菊地 閑月さん (小須戸)

タイトル 漢詩(王維詩)

賑やかで暖かなゾーンを想像してみたのですが...



全国中学校柔道大会へ出場



八月十九日から、高知県で開催される第三十七回全国中学校柔道大会の81kg級に小須戸中学校三年、佐藤大樹さん(鎌倉新田)が出演します。

小須戸の健児たち いざ、全国の夢舞台へ!!

今年こそ、優勝だ!! 最強バッテリー、再び甲子園へ

第79回選抜高校野球大会に日本文理高等学校から次の選手が出演します。



横山龍之介さん (横浜) 3年・投手
田沢 貴憲さん (矢代田) 3年・捕手



360年もの伝統 喧嘩まつり(8/24-8/25開催)

スポーツ大会結果

◆山の手地区チャリティーゴルフ大会
七月八日(土)・湯田上カントリークラブ
・参加者48名・競技方法 新ペリア
優勝 本多和雄(矢代田)
二位 嶋本 博(松ヶ丘)
三位 大塚芳栄(大 沢)



昔ながらの、ふるさとアイス



甘くて、うまい、横川浜の桃



あふれる涼感、しのぶ細工

第三十一回高齢者スポーツ大会

◆鎌・天チーム二年連続優勝
七月九日(日)・小須戸体育館
・参加者25名・参加5チーム
優勝 鎌倉・天ヶ沢チーム
二位 矢代田チーム
三位 横水チーム

糸魚川の塩の道を歩かせんか

塩の道を歩く会会長 土田 孝雄

小須戸中学校を卒業したのは昭和二十四年、いつしか教員生活を終って今は県の西端のまち糸魚川の住民となつています。糸魚川の歴史や文化を調べ本にまとめて外部に発信しているうちに、塩の道が知られ、ヒスイやゆめな川姫も知られるに至りました。塩の道の旅は毎年秋に一泊二日で実施され、全国各地から多くの人が集まり交流会が開かれています。今年で二十二回を迎えています。小須戸からの参加もあり、小須戸出身の者が会長をつとめながら、糸魚川の塩の道を案内しています。どうぞお出かけ下さい。

《越後いといがわ塩の道を歩く旅》

・実施日 十月二十八・二十九日(一泊二日)
・参加費 大人一六〇〇円 小学生一、〇〇〇円 (宿泊食費保険バス代入館料ガイド料土産を含む)
・定員 一〇〇名(定員になり次第締め切り)
・申込み締切り 十月二日
・申込み問合せ 糸魚川市の宮二二 土田 孝雄 TEL:025-555-2150 063

公民館主催の教室・講座のご案内

●初心者木版画教室
作品の上手、下手よりも、楽しみながら制作する初心者向けのお気軽教室です。
日時 九月十二日(火)から一月まで 毎月第二、四火曜日(全十回) 午後七時半～九時十五分
会場 小須戸地区公民館(学習室)
対象 どなたでも(定員十五名)
内容 水性すり木版画
講師 辛愛麻さん(版画家)
材料費 三千元
持ち物 絵具、筆など簡単な
申込み 八月末日までに公民館へ ☎三三八一-二二三四

シリーズ 「今、子どもたちは」 (119)

地球に優しい児童会

小須戸小学校

小須戸小学校の児童会は毎年六月の末に「小須戸つ子祭り」を実施します。三年生以上の各学級は、色々な催しを工夫し、助け合つて当日を迎えます。これまでのお祭りでは、ふんだんに段ボール紙を使用してお店が多かったのですが、今年の祭りは少し内容が変わって来ましたが、今年度は「一年生から六年生までを含んだ異年齢グループが、今以上に仲良くなる。」を中心に計画されています。その意見が子どもたちから出て、テーマは「もつと仲良くならう!地球に優しい小須戸つ子祭り」となりました。当日は六年生の班長が低学年の子どもを引率して楽しい半日を過ごしていました。

おはなしの世界へ

日時 九月十六日(土)午前十時半
会場 ふれあい会館(和室)
対象 幼児から大人まで
読み手 おはなしぼけつと



5の2 ボールランド(目がくしボールひろい)

文芸欄

句	俳	歌	柳
軽やかに時に激しく下駄踏み 帰枝の子しのつく雨となりけり 小雨降る匂ふ泰山 木の花 有り難やからりと晴れし土用入 重き風作り出している 工場扇 母の忌の読経に唱和 若葉風 胸の内問ふてもみたし 羽化の蟬 どくだみや慣れてひとり居る 庵住居 贈られしママ父の日の 山高帽	須藤恵美子 長井 武雄 藤井 春 東樹 ちよ 関根 紀男 井本マツ子 風間 幸子 開野 良遊 中野 大浪	投げられし空缶いくつも転がりて ライトに光る草群のなか 長梅雨に訪ふ人のなき五合庵 裏のなだりに草おもく垂る	大森美恵子 坂井 隆思
ゴージャスな競う車の見本市 料亭に負けぬ女房の錦奉行 世界一四尺玉に酔い痴れる ゴージャスな花嫁衣裳に親父泣き	小林みのる 渡辺 信子 岡田 良平 増井 都留	(題:ゴージャス)	